

小学校理科移動講座

いわき地区・植田小学校会場より

一、はじめに

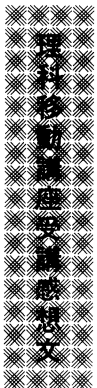
現在の理科教育においては、実験とか観察というものが非常に大きな位置を占めています。

特に、子供たちの人間形成をいかにすべきかという観点から、理科教育が問い直されてきているようすです。

そこで、いろいろな実験や観察をとおして科学的な見方・考え方を作っていくのが一番たいせつではないかと思えます。それには、指導法の研究もさることながら、教材内容の周到な研究がいつそう必要となってきます。

教育センターでは、先生がたのこれらの研究の手助けのために、講座等を計画しています。

さて、そのうち小学校理科移動講座について、御紹介したいと思います。今年はいわき県内各教育事務所単位に十会場を予定して、その内容は、



入遠野小学校 川内 一海

私は、理科研究部に所属すること十七年、このうち何度か理科センターで受講して参りました。しかし、各地で行われる移動講座の経験は初めてでした。

私自身、この講座については、多少貧弱さを感じて参加したのが本音でした。ところが講座が始まり、時間の進行とともに、聞くとも見るとは大違いであることにびっくりしました。

なかでも、電気教材等は、私自身の得意なもので、指導にはいささかの自負心をいただいておりました。

また、天体等についても、夜毎観察を続けた経験から、興味関心も人一倍高いつもりでした。そのため児童への指導にも自信をもっていたのが、今回の講座でくつがえされた感じでした。

講師先生の、教材一つ一つに対する研究の底の深さ、指導技術の巧みさ、ポイントのおさえ方、いずれをとっても教えられることばかりでした。

今回のこの講座は、私にとって大きな収益であるとともに、自己反省の材料ともなり、有意義な三日間でした。

今後は予算の許す範囲で開講し、私たちに自信と勇気を持たせていただければと痛感した次第です。

本当に微にいり細にわたる御指導ありがとうございました。

湯本第一小学校 松本 寿子

受講の知らせを受けた時、わたしはうれしかった。授業を進めるに当たって、一番まごつく教科であるから、一度じっくり教材研究に取り組んで見たいとかねてから願っていたからである。

さて、本講座で一番よく分かったのは、自分は分かっているつもりでも、実は何も正確には分かかっていない、という事実である。これまでの授業の中で起きたまごつきの原因は、このあたりにあったらしい。例えば、金魚の餌えさの食べ方一つを取っても、水を取り替えた日や金魚が興奮状態では、餌を食べないことは知らなかった。だから「さあ、では、餌をやりますからよくごらん」と言

って数日断餌させておいた金魚を用意しても観察できるはずがない。これでは、子供たちの期待もはずれ、せつかくの盛り上がり方が、べしやんこである。授業中意図しない現象が起きても冷静に対処できる実力を持ち、適切な観

点をおさえ指導していくために、三日間の講座は、たいへん有意義であった。特に、電気や星座の観測は、簡単な器具製作で容易にできた。北斗七星の動きを記録し、毎時ほぼ十五度になる事実を確かめられてうれしかった。

ある人の文章に、高学年で担任が女だと「はずれ！」とささやかれるとあつた。世の中はほとんど科学が進歩し指導要領の改正も間近である。たよりなさを感じさせない女教師になりたい。